

2014年3月期第1四半期決算 および 2014年3月期業績見通し

2013年7月25日

株式会社 野村総合研究所



目次

1. 2014年3月期第1四半期決算について

2. 2014年3月期業績見通し

3. 最近の取り組み

第1四半期 連結決算ハイライト

(百万円)

	2013年3月期 第1四半期	2014年3月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	84,411	88,250	+3,839	+4.5%
営業利益	8,246	10,510	+2,263	+27.5%
営業利益率	9.8%	11.9%	+2.1P	
経常利益	9,077	12,249	+3,171	+34.9%
四半期純利益	5,699	7,804	+2,105	+36.9%

2014年3月期第1四半期 連結決算のポイント

● 1Q売上高は+4.5%と好調なスタート

- コンサルティング、銀行や資産運用会社向け金融ITソリューション、製造・サービス業向け産業ITソリューション、IT基盤サービスを中心に、全てのセグメントで増収

● 営業利益は+27.5%の増益

- コンサルティングは、売上高好調により1Qから黒字スタート
- 金融ITは、証券市場連動収入の増加に加え、前1Qの保険向け追加コストが無くなるなど+66.9%の増益
- 産業ITは、プロジェクトの採算性が向上し+47.3%の増益
- IT基盤は、新データセンターの減価償却費をはじめとする先行コスト等の増加で▲29.8%減益

● 当期純利益は+36.9%の増益

- 営業増益に加え、保有有価証券の受取配当金の増加もあり、+36.9%の増益

セグメント別外部連結売上高

(百万円)

	2013年3月期 第1四半期	構成比	2014年3月期 第1四半期	構成比	増減額	増減率
コンサルティング	4,604	5.5%	5,028	5.7%	+424	+9.2%
金融ITソリューション	51,220	60.7%	51,764	58.7%	+543	+1.1%
証券業	26,612	31.5%	26,852	30.4%	+240	+0.9%
保険業	12,269	14.5%	11,156	12.6%	△1,112	△9.1%
銀行業	6,287	7.4%	6,713	7.6%	+426	+6.8%
その他金融業等	6,051	7.2%	7,041	8.0%	+989	+16.4%
産業ITソリューション	19,631	23.3%	20,686	23.4%	+1,054	+5.4%
流通業	10,514	12.5%	10,526	11.9%	+12	+0.1%
製造・サービス業等	9,116	10.8%	10,159	11.5%	+1,042	+11.4%
IT基盤サービス	6,671	7.9%	8,344	9.5%	+1,672	+25.1%
その他	2,284	2.7%	2,427	2.8%	+143	+6.3%
合計	84,411	100.0%	88,250	100.0%	+3,839	+4.5%
野村ホールディングス	23,444	27.8%	20,500	23.2%	△2,944	△12.6%
セブン&アイ・ホールディングス	10,374	12.3%	9,678	11.0%	△696	△6.7%

(注) 野村ホールディングスおよびセブン&アイ・ホールディングス向け売上高には、それぞれの子会社に対するもの及びリース会社等を経由したものを含めています。

主なセグメント別損益

■各セグメントは内部売上高を含む

(百万円)

		2013年3月期 第1四半期	2014年3月期 第1四半期	増減額	増減率
コンサルティング	売上高	4,631	5,103	+471	+10.2%
	営業利益	△147	229	+376	—
	営業利益率	△3.2%	4.5%	+7.7P	
金融ITソリューション	売上高	51,254	51,787	+533	+1.0%
	営業利益	3,631	6,059	+2,428	+66.9%
	営業利益率	7.1%	11.7%	+4.6P	
産業ITソリューション	売上高	19,661	20,700	+1,039	+5.3%
	営業利益	1,120	1,650	+529	+47.3%
	営業利益率	5.7%	8.0%	+2.3P	
IT基盤サービス	売上高	25,391	26,072	+680	+2.7%
	営業利益	2,822	1,981	△840	△29.8%
	営業利益率	11.1%	7.6%	△3.5P	

サービス別連結売上高

(百万円)

	2013年3月期 第1四半期	構成比	2014年3月期 第1四半期	構成比	増減額	増減率
コンサルティングサービス	8,196	9.7%	8,544	9.7%	+348	+4.2%
開発・製品販売	32,209	38.2%	31,503	35.7%	△706	△2.2%
運用サービス	42,004	49.8%	45,732	51.8%	+3,728	+8.9%
商品販売	2,001	2.4%	2,470	2.8%	+468	+23.4%
合 計	84,411	100.0%	88,250	100.0%	+3,839	+4.5%

連結P/Lハイライト

(百万円)

	2013年3月期 第1四半期	2014年3月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	84,411	88,250	+3,839	+4.5%
売上原価	61,605	62,498	+893	+1.5%
外注費	30,432	28,900	△1,531	△5.0%
売上総利益	22,806	25,752	+2,945	+12.9%
売上総利益率	27.0%	29.2%	+2.2P	
販管費	14,560	15,241	+681	+4.7%
営業利益	8,246	10,510	+2,263	+27.5%
営業利益率	9.8%	11.9%	+2.1P	

連結P/Lハイライト 続き

(百万円)

	2013年3月期 第1四半期	2014年3月期 第1四半期	増減額	増減率
営業利益	8,246	10,510	+2,263	+27.5%
営業外損益	830	1,738	+907	
受取配当金	717	1,196	+478	
持分法投資利益	45	424	+379	
経常利益	9,077	12,249	+3,171	+34.9%
特別損益	89	316	+227	
法人税等	3,466	4,770	+1,303	
四半期純利益	5,699	7,804	+2,105	+36.9%

セグメント別外部連結受注残高

(百万円)

	2012年6月末	2013年6月末	増減額	増減率
コンサルティング	5,874	7,666	+1,791	+30.5%
金融ITソリューション	93,495	108,324	+14,828	+15.9%
産業ITソリューション	41,323	41,191	△131	△0.3%
IT基盤サービス	12,859	23,758	+10,899	+84.8%
その他	3,653	3,371	△282	△7.7%
合計	157,206	184,311	+27,105	+17.2%
うち、当期売上予定分	155,023	174,691	+19,668	+12.7%

1. 2014年3月期第1四半期決算について

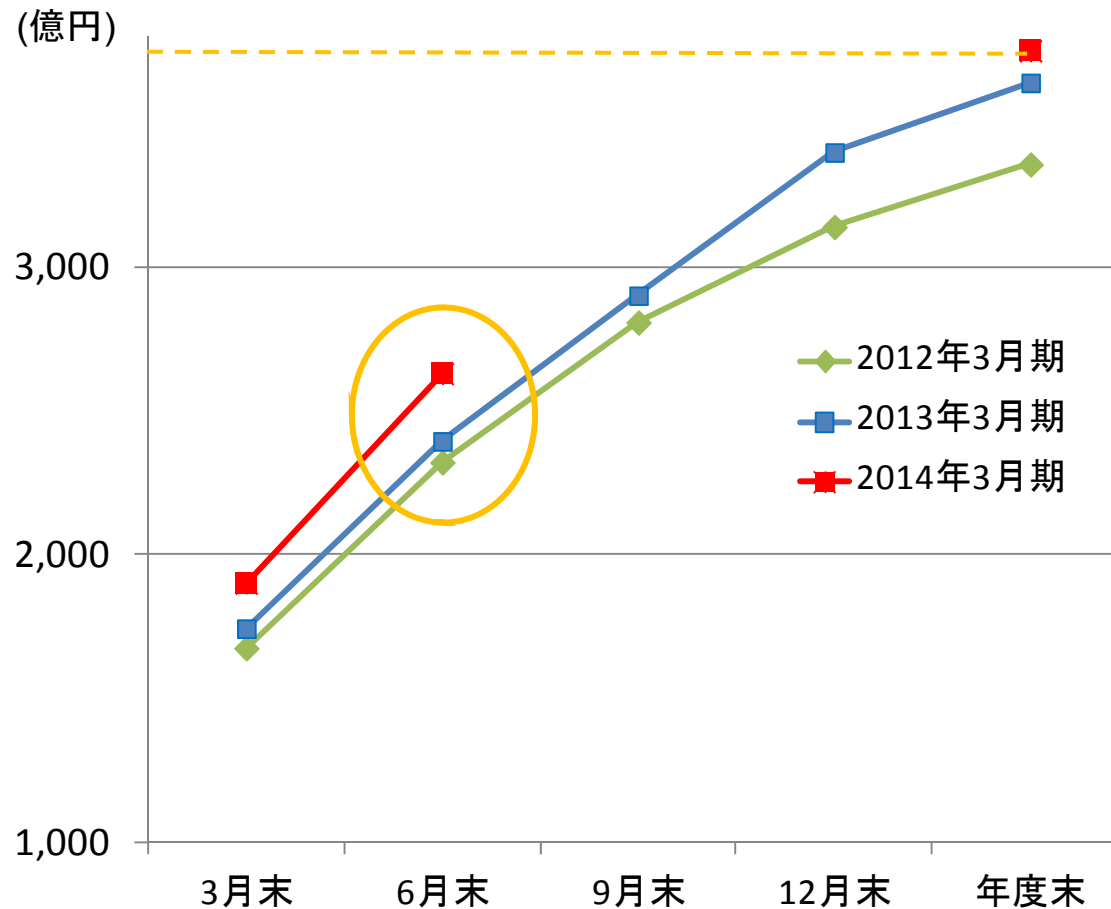
2. 2014年3月期業績見通し

3. 最近の取り組み

売上高＋受注残高(うち当期売上予定分)

➤ 受注残(うち当期売上予定分)は好調に推移








売上高累計額＋受注残高(うち当期売上予定分)の推移



足元の状況

➤ 大規模プロジェクトの獲得、新規顧客創出・拡大を目指す

2014年3月期の取り組み

コンサルティング		<ul style="list-style-type: none"> ・業務コンサル、公共系案件、グローバル案件、業務×ITコンサル、IT部門構造改革 (PMO等)
金融ITソリューション		
証券業		<ul style="list-style-type: none"> ・野村証券の国内システム刷新 (STAR導入後の次のステップ本格化) ・共同利用型サービス (STAR-IV) のNISA等制度変更対応 ・フロント系サービス (NRIアドバイザープラットフォーム) の機能拡充、新規顧客獲得
保険業		<ul style="list-style-type: none"> ・新規顧客の獲得 ・民間生損保拡大
銀行業		<ul style="list-style-type: none"> ・BESTWAY/JJのメガバンクへの移行・導入立ち上げ ・NISA等制度変更対応に伴い共同利用型サービス (Bestway) の利用申込増 ・インターネットバンキングシステム「Value Direct」で新規リリース
その他金融業等		<ul style="list-style-type: none"> ・資産運用系ASPでの①フロント・ミドル系サービス強化、②クラウド技術を活用したサービスの刷新、③BPO事業の推進
産業ITソリューション		
流通業		<ul style="list-style-type: none"> ・主要顧客の事業規模拡大や海外展開等の対応
製造・サービス業等		<ul style="list-style-type: none"> ・コンサルとシステムが協力し新規顧客開拓や既存顧客の大型化を目指す

2014年3月期 通期連結業績予想修正のポイント

- **売上高予想を+50億円、営業利益予想を+20億円上方修正**

- 6月末受注残高(当期売上予定分)は+12.7%増と好調な積み上がり
- 金融制度変更に関わる金融機関のIT投資需要は高い
- 証券市場連動収入の見通しを引き上げ
- システムの老朽化対応など、IT基盤刷新のニーズも高い

2014年3月期 通期連結業績予想

【通期】

(億円)

	2013年3月期 通期(実績)	2014年3月期 通期(7/25予想)	増減額	増減率	2014年3月期 通期(4/25予想)	前回予想差
売上高	3,638	3,750	+111	+3.1%	3,700	+50
営業利益	440	490	+49	+11.3%	470	+20
営業利益率	12.1%	13.1%	+1.0P	/	12.7%	+0.4P
経常利益	458	515	+56	+12.3%	485	+30
当期純利益	286	320	+33	+11.8%	300	+20
1株当たり当期純利益	¥145.28	¥161.76	+¥16.48	/	¥151.81	/
1株当たり年間配当金	¥52.00	¥52.00	—	—	¥52.00	—
配当性向	35.9%	32.2%	△3.7P	/	34.3%	/

2014年3月期 セグメント別外部連結売上高予想

【通期】

(億円)

	2013年3月期 通期(実績)	構成比	2014年3月期 通期(7/25予想)	構成比	増減額	増減率	2014年3月期 通期(4/25予想)	前回予想差
コンサルティング	227	6.3%	240	6.4%	+12	+5.4%	240	—
金融ITソリューション	2,197	60.4%	2,200	58.7%	+2	+0.1%	2,200	—
証券業	1,159	31.9%	1,110	29.6%	△49	△4.2%	1,060	+50
保険業	501	13.8%	510	13.6%	+8	+1.7%	580	△70
銀行業	279	7.7%	300	8.0%	+20	+7.5%	300	—
その他金融業等	257	7.1%	280	7.5%	+22	+8.6%	260	+20
産業ITソリューション	836	23.0%	840	22.4%	+3	+0.5%	840	—
流通業	448	12.3%	425	11.3%	△23	△5.1%	450	△25
製造・サービス業等	388	10.7%	415	11.1%	+26	+6.9%	390	+25
IT基盤サービス	288	7.9%	370	9.9%	+81	+28.2%	330	+40
その他	89	2.4%	100	2.7%	+10	+12.2%	90	+10
合 計	3,638	100.0%	3,750	100.0%	+111	+3.1%	3,700	+50

2014年3月期 サービス別外部連結売上高予想

【通期】

(億円)

	2013年3月期 通期(実績)	構成比	2014年3月期 通期(7/25予想)	構成比	増減額	増減率	2014年3月期 通期(4/25予想)	前回予想差
コンサルティング サービス	390	10.7%	380	10.1%	△10	△2.8%	390	△10
開発・製品販売	1,404	38.6%	1,420	37.9%	+15	+1.1%	1,410	+10
運用サービス	1,749	48.1%	1,850	49.3%	+100	+5.7%	1,810	+40
商品販売	93	2.6%	100	2.7%	+6	+7.0%	90	+10
合 計	3,638	100.0%	3,750	100.0%	+111	+3.1%	3,700	+50

1Qの実績と、通期の業績見通し

(億円)

		1Q	2Q	3Q	4Q	通期
2011年3月期	売上高	806	814	798	843	3,263
	営業利益	65	94	110	114	384
	営業利益率	8.1%	11.6%	13.8%	13.5%	11.8%
2012年3月期	売上高	784	830	828	911	3,355
	営業利益	86	114	105	125	431
	営業利益率	11.0%	13.8%	12.7%	13.7%	12.9%
2013年3月期	売上高	844	899	860	1,035	3,638
	営業利益	82	123	107	127	440
	営業利益率	9.8%	13.7%	12.5%	12.3%	12.1%
2014年3月期 1Qは実績 2Q以降は予想	売上高	882	947	1,920		3,750
	営業利益	105	129	255		490
	営業利益率	11.9%	13.7%	13.3%		13.1%

(注)2014年3月期2Qの数字は、上期業績予想(参考値)から1Q実績を差し引いた数字

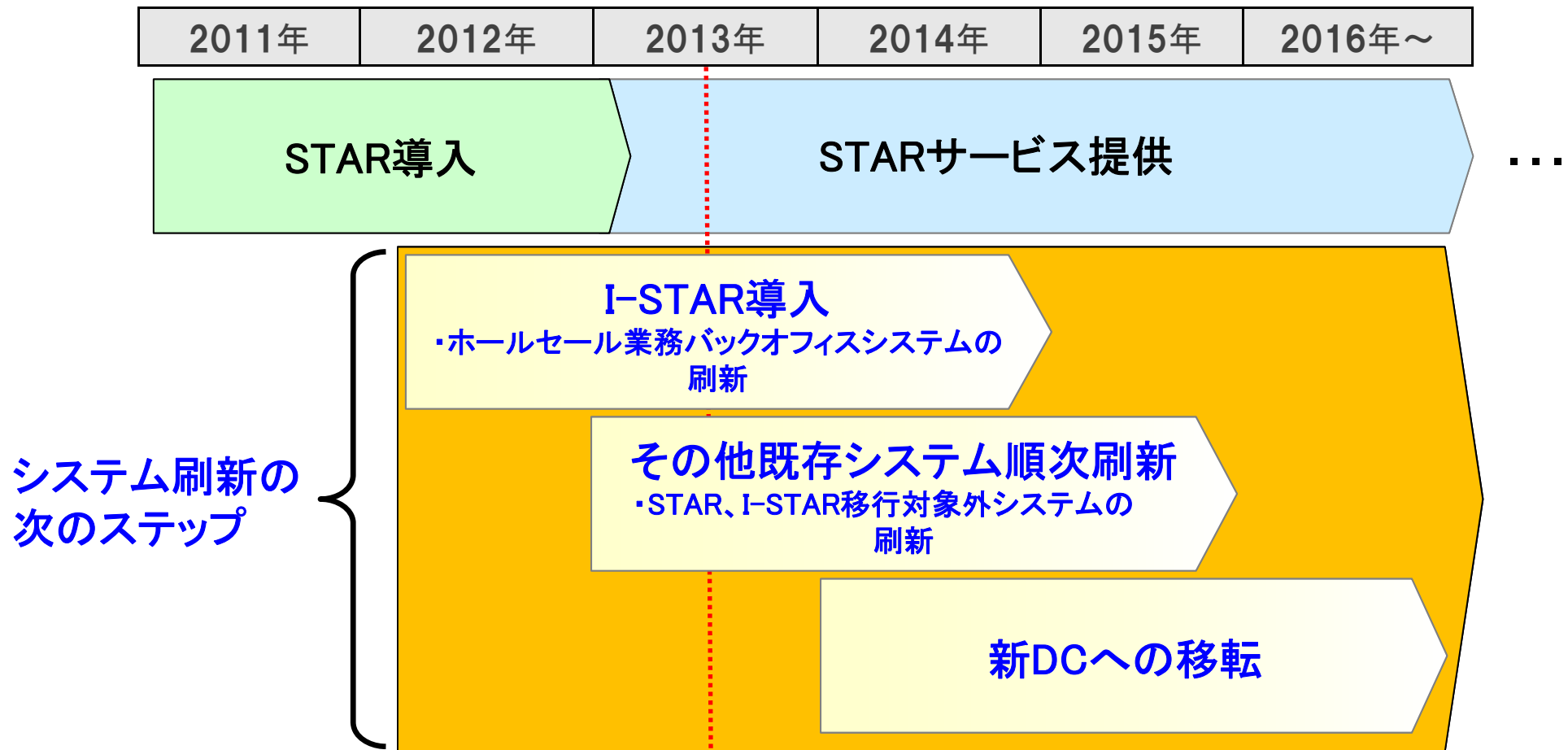
1. 2014年3月期第1四半期決算について

2. 2014年3月期業績見通し

3. 最近の取り組み

最近の取り組み 野村証券の国内システム刷新プロジェクト

- STAR導入後の国内システム刷新の次ステップへ着手
- 引続き高い水準で案件が継続



最近の取り組み NISA対応

- **NISA機能の追加にいち早く対応開始**
- **システム対応(共同利用型サービス、個別SI案件)も順調に進捗**

システム対応中の共同利用型サービス(例)

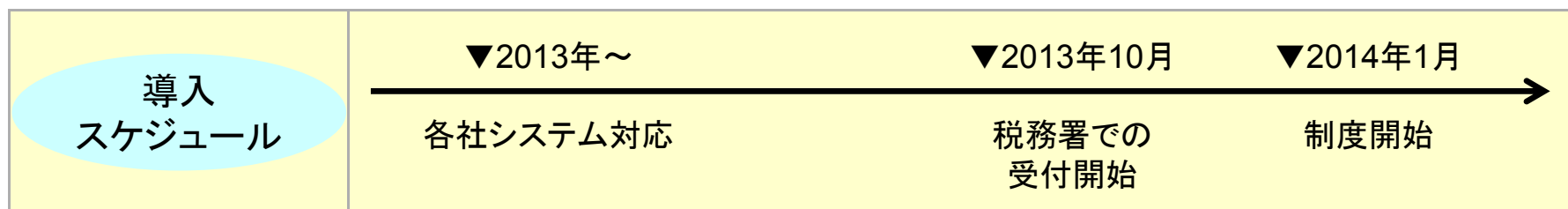
総合証券バックオフィスシステム



利用社数：51社
(証券会社・信託等)

投信窓販口座管理システム

利用社数：106社
(都銀・信託・地銀・第二地銀等)



最近の取り組み Value Direct

➤ 地銀を中心に引き合い好調、順調に利用顧客拡大

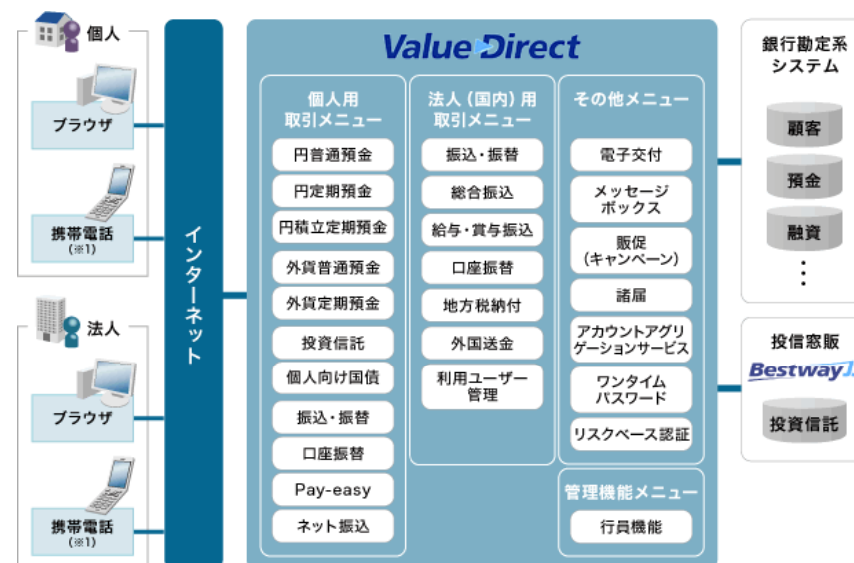
Value Direct

- スルガ銀行
- みなと銀行
- 南都銀行
- さわかみ投信
- **山梨中央銀行**

：
12社採用決定(注)
(うち8社稼働)

(注)2013年6月現在

20行導入の早期目標達成
も視野に



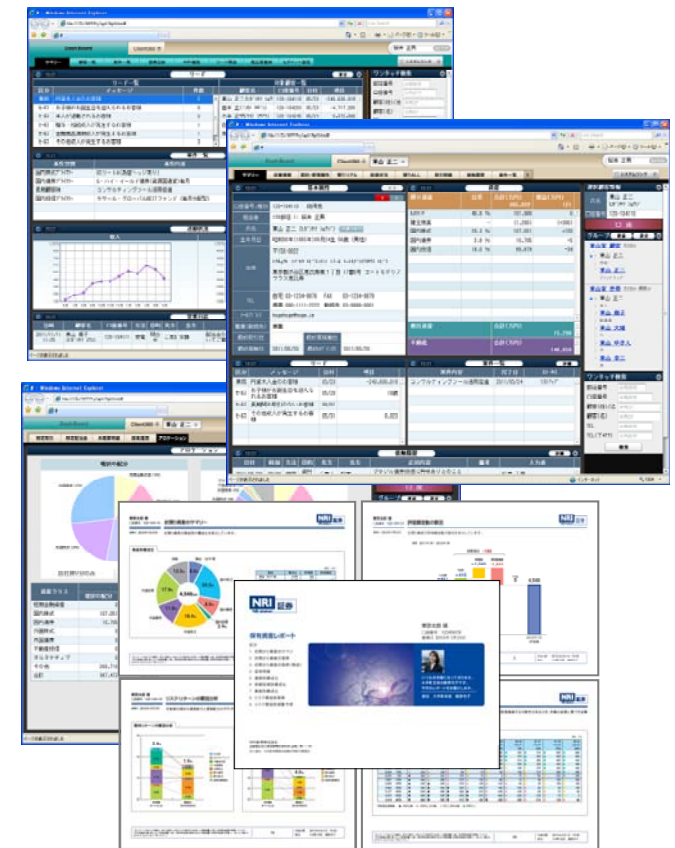
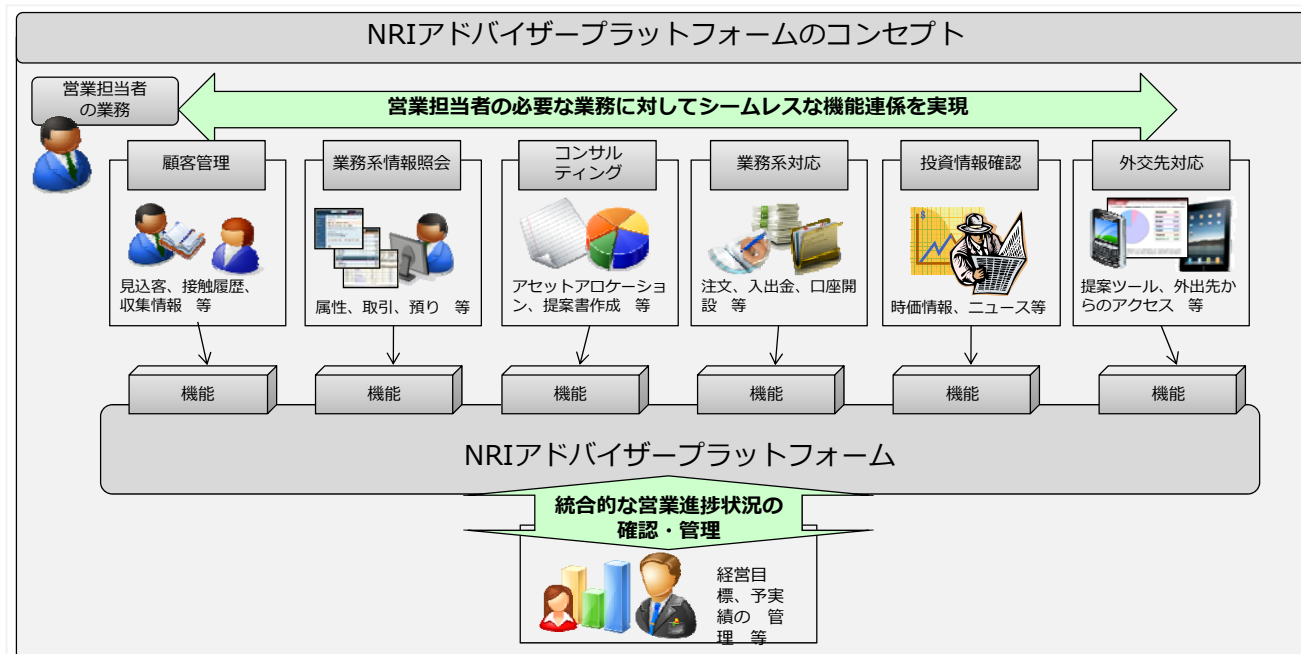
※1 携帯電話 (iモード、EZweb、SOFTBANK) に対応

(注)「Value Direct」には、振込・振替、定期預金、外貨預金、投資信託、国債、ローンなど一連の取引に対応したフルバンキング機能を装備
「Value Direct/投信」は、「Value Direct」のうち投資信託機能を提供

最近の取り組み NRIアドバイザープラットフォーム

金融商品のコンサルティング型営業を支援するフロントシステム

- 野村証券に続き、証券会社1社への新規大型導入が決定
- 2013年6月 野村証券へモバイルオプションを提供



STAR-IVとも連携した高付加価値サービス

-
- 本資料は、2014年3月期第1四半期決算の業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではなく、また何らかの保証・約束をするものではありません。
本資料に掲載されております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、また今後、予告無しに変更されることがあります。
 - 本資料のいかなる部分も一切の権利は野村総合研究所に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。
 - 業績予想に関する参考値は当社の現状及び見通しをご理解いただくために目安となる値を表示したものです。なお、新たな情報や何らかの現象が生じた場合において、当社が業績見通し等を常に見直すとは限りません。

参考資料

1. その他業績関連資料
2. 最近の取り組み
3. その他

1. その他業績関連資料

セグメント別外部連結受注高

(百万円)

	2013年3月期 第1四半期	2014年3月期 第1四半期	増減額	増減率
コンサルティング	6,892	8,053	+1,160	+16.8%
金融ITソリューション	34,137	41,442	+7,305	+21.4%
産業ITソリューション	17,407	10,946	△6,460	△37.1%
IT基盤サービス	4,036	17,880	+13,844	+343.0%
その他	3,902	3,225	△676	△17.3%
合計	66,375	81,550	+15,174	+22.9%

1. その他業績関連資料

2014年3月期 業績予想参考値(上期・下期)

【上期】

(億円)

	2013年3月期 上期(実績)	2014年3月期 上期(7/25予想)	増減額	増減率	2014年3月期 上期(4/25予想)	前回予想差
売上高	1,743	1,830	+86	+5.0%	1,780	+50
営業利益	205	235	+29	+14.2%	220	+15
営業利益率	11.8%	12.8%	+1.0P		12.4%	+0.5P
経常利益	215	255	+39	+18.2%	230	+25
当期純利益	134	160	+25	+19.3%	140	+20

【下期】

	2013年3月期 下期(実績)	2014年3月期 下期(7/25予想)	増減額	増減率	2014年3月期 下期(4/25予想)	前回予想差
売上高	1,895	1,920	+24	+1.3%	1,920	—
営業利益	234	255	+20	+8.8%	250	+5
営業利益率	12.4%	13.3%	+0.9P		13.0%	+0.3P
経常利益	242	260	+17	+7.0%	255	+5
当期純利益	152	160	+7	+5.2%	160	—

1. その他業績関連資料

2014年3月期 セグメント別売上高予想参考値(上期・下期)

(億円)

【上期】	2013年3月期 上期(実績)		2014年3月期 上期(7/25予想)		増減額	増減率	2014年3月期 上期(4/25予想)		前回予想差
		構成比		構成比					
	コンサルティング	106	6.1%	110	6.0%	+3	+3.5%	110	—
	金融ITソリューション	1,046	60.0%	1,070	58.5%	+23	+2.2%	1,050	+20
	証券業	531	30.5%	550	30.1%	+18	+3.5%	515	+35
	保険業	260	14.9%	235	12.8%	△25	△9.8%	265	△30
	銀行業	133	7.7%	145	7.9%	+11	+8.6%	145	—
	その他金融業等	121	7.0%	140	7.7%	+18	+15.1%	125	+15
	産業ITソリューション	403	23.2%	420	23.0%	+16	+4.0%	415	+5
	流通業	218	12.5%	210	11.5%	△8	△3.7%	220	△10
	製造・サービス業等	185	10.7%	210	11.5%	+24	+13.0%	195	+15
	IT基盤サービス	142	8.1%	180	9.8%	+37	+26.7%	160	+20
	その他	44	2.5%	50	2.7%	+5	+12.6%	45	+5
	合計	1,743	100.0%	1,830	100.0%	+86	+5.0%	1,780	+50
【下期】	2013年3月期 下期(実績)		2014年3月期 下期(7/25予想)		増減額	増減率	2014年3月期 下期(4/25予想)		前回予想差
		構成比		構成比					
	コンサルティング	121	6.4%	130	6.8%	+8	+7.1%	130	—
	金融ITソリューション	1,150	60.7%	1,130	58.9%	△20	△1.8%	1,150	△20
	証券業	627	33.1%	560	29.2%	△67	△10.8%	545	+15
	保険業	241	12.7%	275	14.3%	+33	+14.1%	315	△40
	銀行業	145	7.7%	155	8.1%	+9	+6.5%	155	—
	その他金融業等	136	7.2%	140	7.3%	+3	+2.8%	135	+5
	産業ITソリューション	432	22.8%	420	21.9%	△12	△2.8%	425	△5
	流通業	230	12.1%	215	11.2%	△15	△6.5%	230	△15
	製造・サービス業等	202	10.7%	205	10.7%	+2	+1.3%	195	+10
	IT基盤サービス	146	7.7%	190	9.9%	+43	+29.8%	170	+20
	その他	44	2.4%	50	2.6%	+5	+11.9%	45	+5
	合計	1,895	100.0%	1,920	100.0%	+24	+1.3%	1,920	—

1. その他業績関連資料

2014年3月期 サービス別売上高予想参考値(上期・下期)

【上期】

(億円)

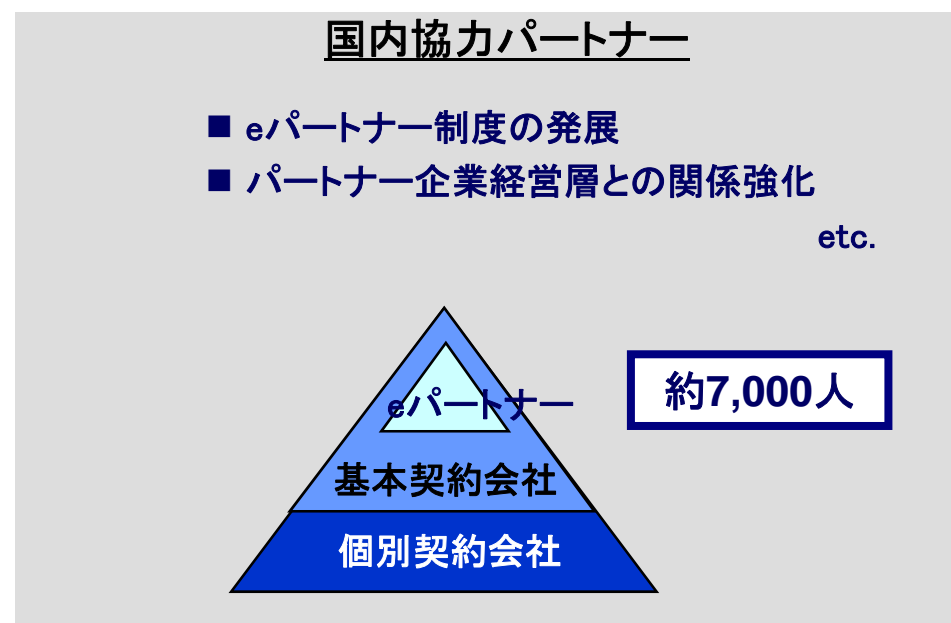
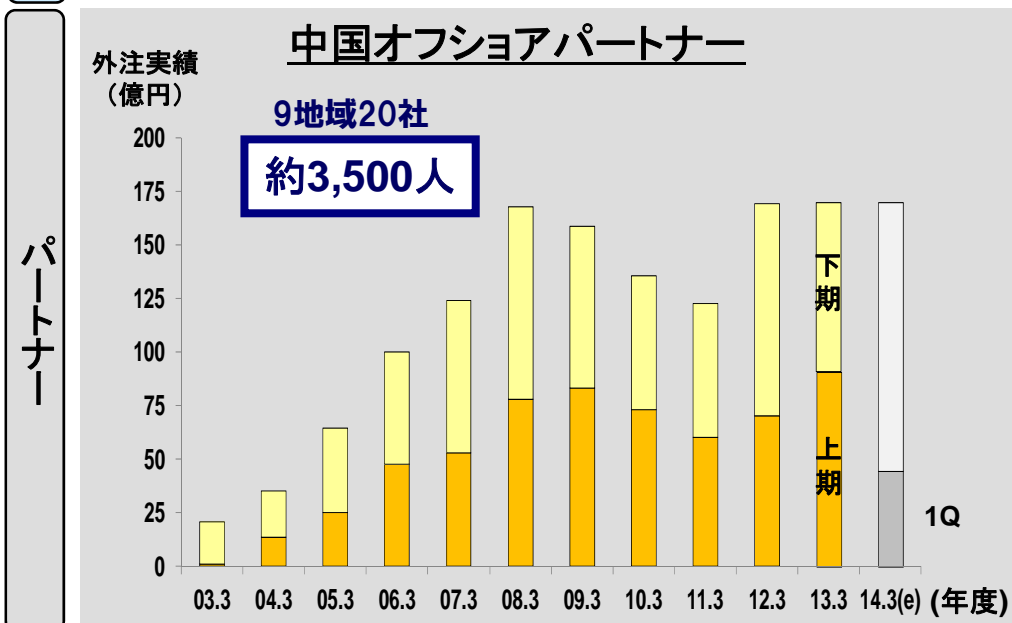
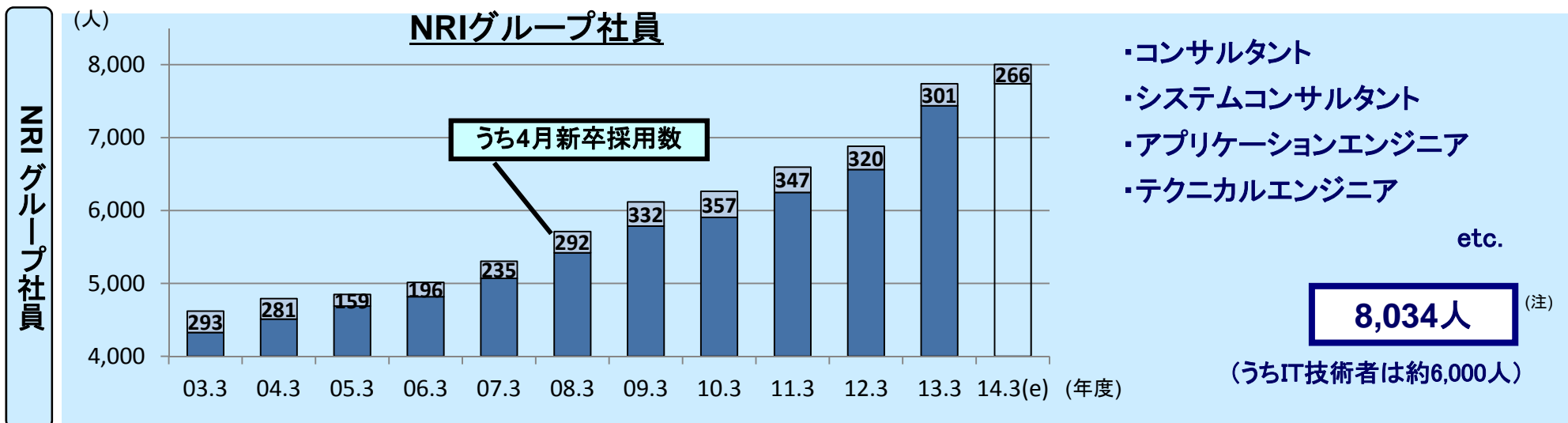
	2013年3月期 上期(実績)	構成比	2014年3月期 上期(7/25予想)	構成比	増減額	増減率	2014年3月期 上期(4/25予想)	前回予想差
コンサルティングサービス	185	10.7%	180	9.8%	△5	△3.2%	190	△10
開発・製品販売	667	38.3%	680	37.2%	+12	+1.8%	645	+35
運用サービス	845	48.5%	920	50.3%	+74	+8.8%	900	+20
商品販売	44	2.5%	50	2.7%	+5	+13.5%	45	+5
合計	1,743	100.0%	1,830	100.0%	+86	+5.0%	1,780	+50

【下期】

	2013年3月期 下期(実績)	構成比	2014年3月期 下期(7/25予想)	構成比	増減額	増減率	2014年3月期 下期(4/25予想)	前回予想差
コンサルティングサービス	204	10.8%	200	10.4%	△4	△2.4%	200	—
開発・製品販売	737	38.9%	740	38.5%	+2	+0.4%	765	△25
運用サービス	904	47.7%	930	48.4%	+25	+2.9%	910	+20
商品販売	49	2.6%	50	2.6%	+0	+1.3%	45	+5
合計	1,895	100.0%	1,920	100.0%	+24	+1.3%	1,920	—

1. その他業績関連資料

社員＋国内・中国協力パートナー



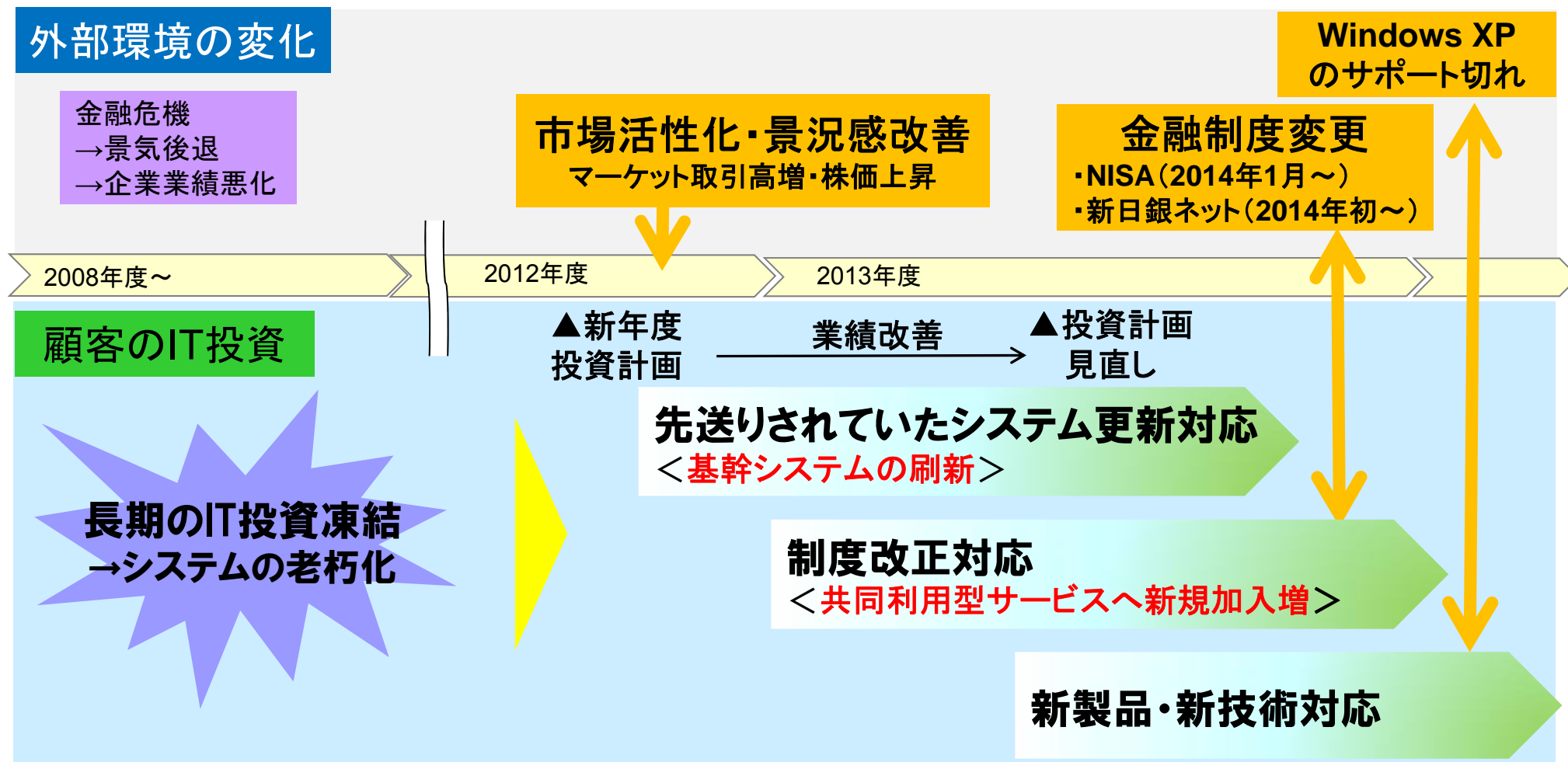
この資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。
Copyright(C) 2013 Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

(注)人数は2013年6月末時点

2. 最近の取り組み

基幹システム／基盤刷新案件への対応

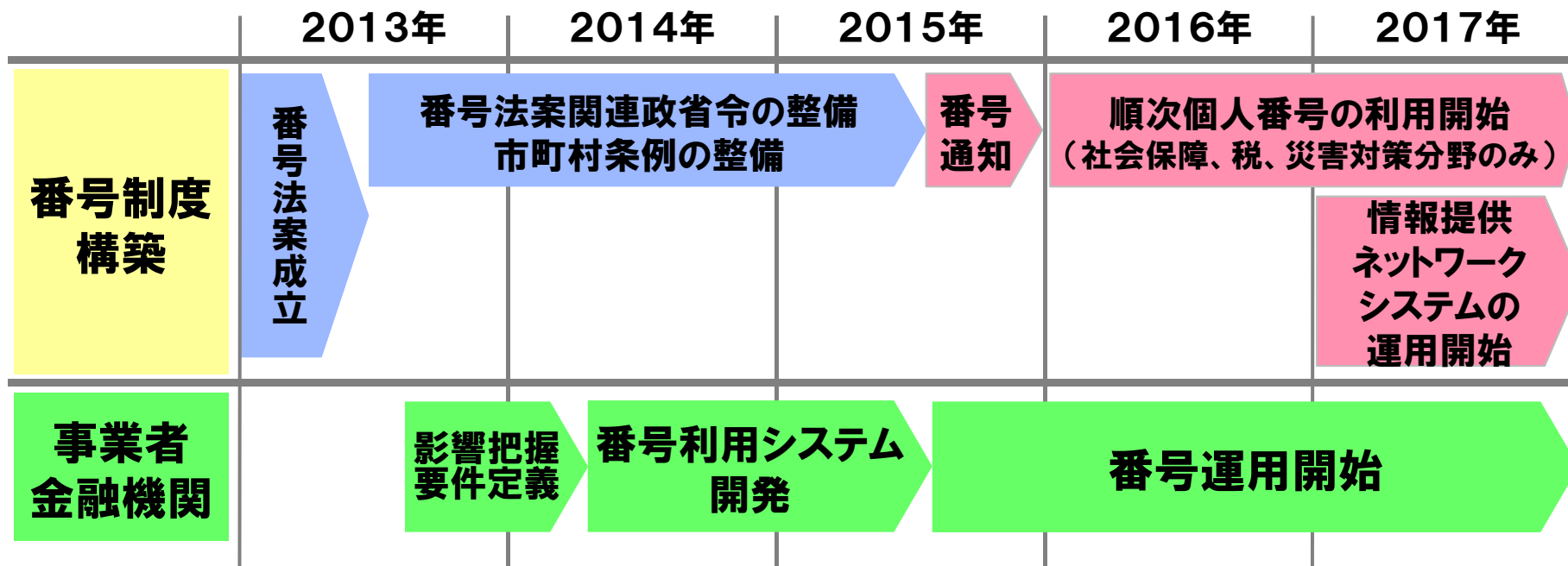
- 過去のIT投資抑制や昨今の技術革新を背景に、基幹システムや基盤刷新案件増加が見込まれている



2. 最近の取り組み 番号制度に向けて

➤ 金融機関向けを中心に、業務面・システム面の検討を進める

番号制度開始に向けた企業としての想定スケジュール



2. 最近の取り組み

アジア拠点の再編・強化

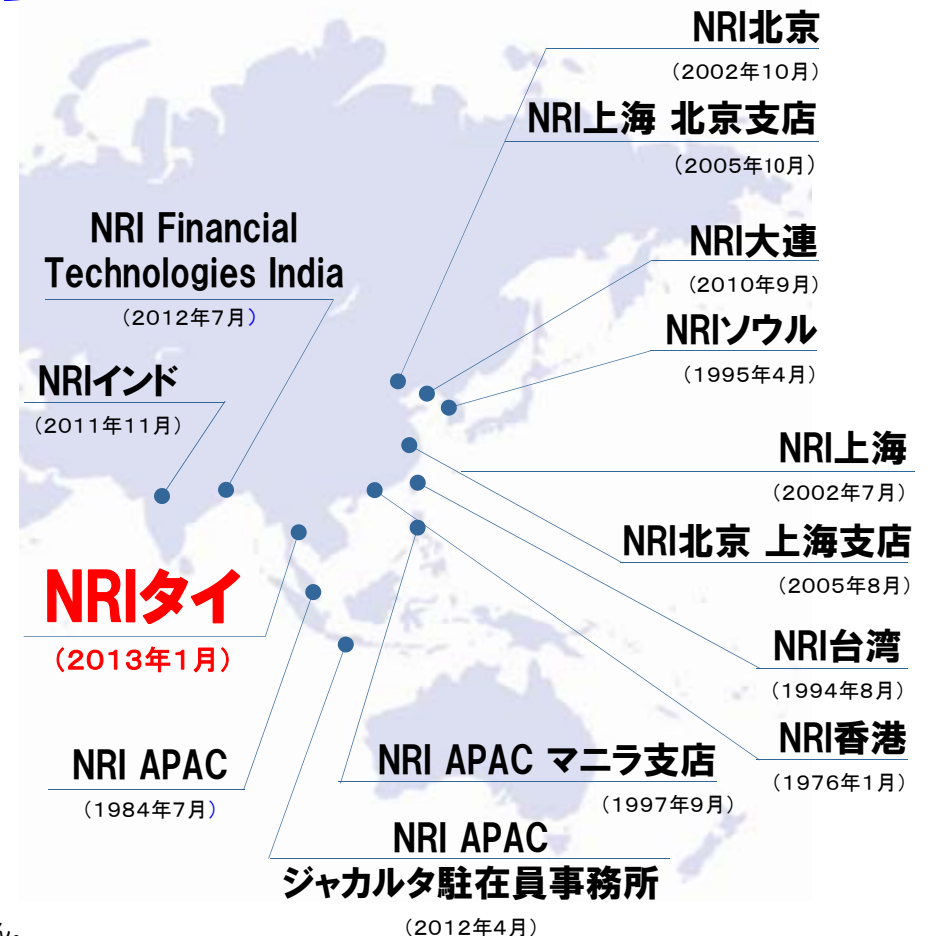
- ▶ **タイ拠点を設立し、アセアン4、インド2、中韓台8拠点における日系企業へのサービス提供の強化**
- ▶ **アジアへのグローバル展開は着実に進歩**

NRIタイ設立の狙い

- ASEAN地域での中枢機能を高める日系企業へのサービス提供の強化
- タイを含むASEAN地域における社会システム整備の支援
- コンサルティングとシステムソリューションの両事業を併せ持つ拠点として整備
(「ナビゲーション×ソリューション」の実現)



「NRIタイ 開所式」を開催



2. 最近の取り組み

野村証券にAPFモバイルオプションを提供

- NRIは、野村証券にモバイル端末を利用した営業支援ソリューション「アドバイザープラットフォーム・モバイルオプション」の提供を開始した。
- 資産運用相談や各種金融商品の営業担当者が社外での活動にモバイル端末が利用できる体制を整えた。
- コンサルティングに必要な情報を社外で閲覧でき、移動時間や業務の合間に面談結果を簡便に入力できる。入力した情報は社内システムと連携でき、事務作業の軽減に繋がる。

◆社外で情報閲覧
野村総合研究所 野村証券にモバイル端末を利用した営業支援ソリューションの提供を開始した。資産運用相談や各種金融商品の営業担当者が、社外での活動にモバイル端末が利用できる体制を整えた。コンサルティングに必要な情報を社外で閲覧できるほか、移動時間や業務の合間に面談結果を簡便に入力できる。入力した情報は社内システムと連携でき、事務作業の軽減に繋がる。

2013/6/7 日刊工業新聞

2. 最近の取り組み

新日銀ネット対応第2段階に着手

- NRIは、金融機関が日本銀行を通じて行う決済管理を支えるソリューション「I-STAR/LC」について、日銀が構築を手掛ける新しい日本銀行金融ネットワークシステム(新日銀ネット)対応の第2段階に向けたシステム対応に着手した。
- 「I-STAR/LC」は、日銀との間でコンピュータ接続方式を利用している金融機関の約半数が利用しており、この分野では業界標準となっている。
- 「I-STAR/LC」の新日銀ネット対応の第2段階を確実に実現することで、2015年度までに全面的に再構築する日銀ネットに対応する環境を整え、金融機関業務の高度化と負荷軽減を支援する。

◆再構築に対応

野村総合研究所(NRI)金融機関が日本銀行金融ネットワークシステム(日銀ネット)に接続して決済処理するためのシステムに新たな機能を追加する。2015年度までに全面的に再構築する日銀ネットに対応する環境を整え、金融機関業務の高度化と負荷軽減を支援する。新機能の追加

後には最新の免震・耐震技術、セキュリティ対策や高負荷サーバ対応などの機能を備えるNRIのデータセンター(DC)でシステムを運用することになる。NRIの日銀ネット対応の決済処理システムは日銀との間でコンピュータ接続方式を利用する金融機関の約半数が利用している。

2013/7/22 日刊工業新聞

2. 最近の取り組み

アマゾン系クラウド専任チームを設立

- NRIは、米アマゾン子会社が提供するクラウドサービス「アマゾン・ウェブ・サービス」の導入を支援する専任チームを社内に設けた。
- 同サービスの導入を検討する企業に相談やシステム設計、構築、運用支援まで一貫したサービスを提供する。
- 製造業や流通業など様々な業種のIT投資の需要を取り込む。

2013/6/7 日経産業新聞

2. 最近の取り組み

「イノベーター」発掘・育成プロジェクトを実施

- NRIは、新生銀行と共同で、新しい価値を創造できる人材である「イノベーター」の発掘・育成を目指すパイロットプロジェクトを実施する。
- 日本社会を再活性化していくためには、社会を変える革新的アイデアを想起でき、それを新しいビジネスモデルなどのカタチにできる人材の数を大幅に増やす必要がある。このプロジェクトでは、そのような「イノベーター」の発掘・育成を目的とする。
- このパイロットプロジェクトでは、多様な人材との交流を通じて価値観を共有し、社会ニーズへの認識を深めるための大規模な対話セッション「ダイアログ・ナイト」や、具体的なアクションや事業を考案しアイデアをカタチにするためのワークショップの「プロトタイプ・キャンプ」を開催し、合計300名の参加を想定している。

2013/7/18 日本経済新聞

2. 最近の取り組み

NRIセキュア、デジタルアーツと提携

- NRIセキュアは、デジタルアーツとセキュリティソフト事業で戦略的業務提携をした。今後、両社製品の機能強化と連携製品の共同企画と開発を行っていく。
- また、NRIセキュアのメール誤送信防止ソフト、電子ファイル管理ツールの事業をデジタルアーツに譲渡し、販売の一本化を図る。

NRIセキュア デジタルアーツ セキュリティソフト事業で提携

NRIセキュアテクノロジーズ(東京都港区)とデジタルアーツ(東京都千代田区)はこのほど、セキュリティソフト事業で戦略的業務提携をした。今後、両社製品の機能強化と連携製品の共同企画と開発を行うとともに、7月1日付でNRIセキュアのメール誤送信防止ソフトと電子ファイル管理ツール「Secure Cube」をデジタルアーツに譲渡する。今回の提携で、デジタルアーツの電子メールフィルタリングソフト「mobi-LTERR(エムフィルタ)」と、NRIセキュアの「Secure Cube」(セキュアファイル転送およびファイル送信サービス「クリプト便」電子メール監視ツール「Secure Cube」)のデジタルアーツへの事業譲渡により、販売の一本化を図る。メール送信前の注意喚起が強化され、企業規模にかかわらず対応が可能となる。

今年度下期には協業第一弾製品として、メールの添付ファイルからの情報漏えい対策ソリューションを発売する予定。

2013/6/6 電波新聞

3. その他 - 業績予想補足説明資料

■ 売上高3,750億円・営業利益490億円の収支モデル

(億円)

	2012年3月期 通期(実績)	2013年3月期 通期(実績)	2014年3月期 通期(7/25予想) ^(注)	前期比		2014年3月期 通期(4/25予想) ^(注)	前回予想差
				増減額	増減率		
売上高	3,355	3,638	3,750	+111	+3.1%	3,700	+50
売上原価	2,355	2,623	2,680	+56	+2.2%	2,650	+30
うち労務費	571	644	690	+45	+7.0%	680	+10
うち外注費	1,120	1,161	1,280	+118	+10.2%	1,270	+10
うち減価償却費	294	412	320	△92	△22.5%	320	—
売上総利益	1,000	1,015	1,070	+54	+5.3%	1,050	+20
売上総利益率	29.8%	27.9%	28.5%	+0.6P		28.4%	+0.2P
販管費	568	575	580	+4	+0.8%	580	—
営業利益	431	440	490	+49	+11.3%	470	+20
営業利益率	12.9%	12.1%	13.1%	+1.0P		12.7%	+0.4P

(注) 収支モデル作成のための想定値

3. その他 - コミュニケーション活動

フォーラム・説明会等



2013年5月
「ITロードマップセミナー SPRING 2013」を開催

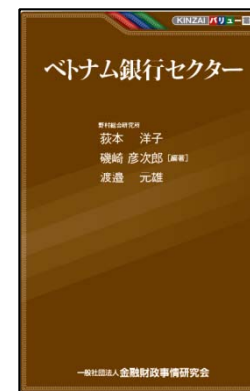
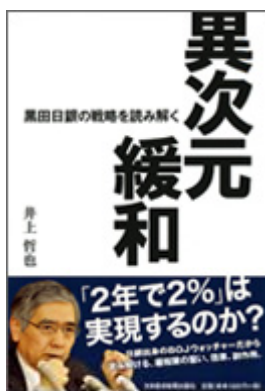


2013年7月
「NRIタイ 開設セミナー」を開催



2013年7月
「IT Japan 2013」で講演

出版物



2013年4月以降に出版された本の例